

ごあいさつ



札幌市農業協同組合
代表理事組合長

軽部 幹夫

日頃、みなさまには格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JAさっぽろは積極的な情報開示を通じて経営の透明性を高め、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、令和6年度の事業内容に関するディスクロージャー資料『JAさっぽろディスクロージャー2025』を開示いたしました。みなさまが取引金融機関を選択する際の判断材料として、また、当JAの地域貢献活動への取り組み、業績の推移などをご理解いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

○農業とJAを取り巻く情勢

肥料・飼料・燃料などの資材価格の高騰・高止まりによる厳しい状況が依然として続いています。「食」を支える「農」という基幹産業の現状を伝え理解を広めるため、JAによる情報発信の強化および生産者の声を届ける農政活動の重要性が増しております。

このような情勢の下、日本銀行によるマイナス金利政策の解除に伴う「金利のある世界」への回帰により収益機会の増加が期待される一方、貯金確保に向け、継続的な取引につながるサービスの品質向上を図るなど、利用者のみなさまに選ばれるための事業推進に取り組む必要があります。

○事業実績の状況

管内の農業は、平年並みの降雪量に加えて春の高温傾向で順調に融雪を迎え、播種・定植は例年より早いペースで進みましたが、生育時期の降水量不足などにより一部作物では出荷量の減少や品質の低下等の影響がありましたが、概ね平年並みの作柄となりました。

信用・共済・相談事業につきましては、令和5年の合併によって得た経営資源を最大限に活用したことにより、事業利益では計画を大きく上回る成果を得ることができました。これもひとえに組合員みなさまのご利用、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

○みなさまへのメッセージ

令和7年度は、第6次中期3ヵ年経営計画および地域農業振興計画の実践初年度となります。引き続き重点テーマとして掲げた「農業の持つ価値の発信」に注力してまいります。

今後も多様化する価値観やニーズに応え、組合員と地域のみなさまに必要とされる存在を目指してまいりますので、組合員のみなさまのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月